

## 第27回 特別講演会

# 新種はこうして見つけよう

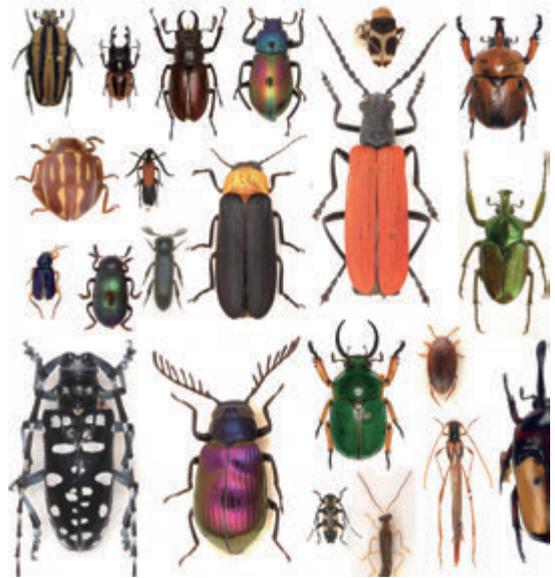
## 吉富博之 先生（愛媛大学農学部）

昆虫は、地球上で最も繁栄している生物だと言われています。そして地球上に生息すると想定される昆虫の半分以上が、まだ名前が付けられていない未知の種、つまり新種の候補だと考えられています。

私は子供の頃から生き物が好きで、高校生になってからは昆虫一筋、いわゆる昆虫少年でした。野山で昆虫採集をして標本を作りその名前を調べていました。そして、昆虫の研究をするために大学に進学し、それから約20年間にわたり昆虫の分類学的研究を行ってきました。

私の専門は、甲虫類という昆虫の中でも最も種数が多いとされるグループです。甲虫類には、カブトムシやクワガタ、タマムシなど、大きくてカッコいい種も含まれていますが、数ミリ程度の大きさの種がほとんどで、そうした小さな種には未だに多くの新発見が眠っています。これまでの研究の成果として、世界中から300種を超える新種を発見することができました。手元には新種と考えられる標本がたくさんあり、これからも新種を発見し続けていくこととなります。今まさに見つかっている新種や身近で発見された新種の話を変えて、新種はどうやって見つかっているのかをひも解いていきます。

新種はどこに居るの？新種を見つけるにはどうしたらよいの？新種を見つけたら自分の名前が付くの？新種を見つけたらお金が貰えるの？そんな疑問にお答えします。



▲愛媛大学ミュージアムに所蔵されている新種発見の基礎となった標本

- ・開催日時：平成29年11月11日（土）13:00～14:30
- ・場 所：豊田ホタルの里ミュージアム 多目的ホール
- ・受講料：無 料
- ・申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。  
豊田ホタルの里ミュージアム  
電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355  
E-mail：kittsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
- ・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・定 員：40名